



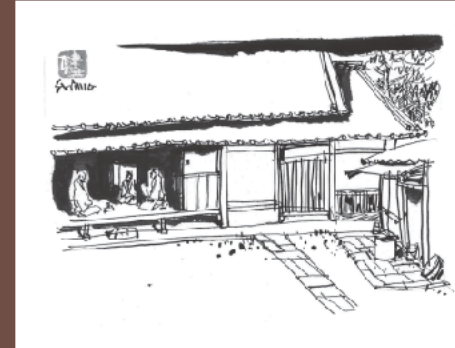
し き ぼ どう れい まい じゅう きよ あと  
子規母堂令妹住居跡  
Site of the House of Shiki's Mother and Sister

当時、子規の家はべつなところに移っている。  
旧宅とおなじく中ノ川沿いではある。その川筋  
(正確には川というより溝だが)を一丁ばかり西へくだと、  
通称、

「興禅寺あと」

という一角がある。そこに母方の実家の大原  
家(加藤恒忠の生家)の屋敷がある。大原家では子規の  
療養のためとおもい、その屋敷地に閑静な小家屋を  
たててくれていた。

司馬遼太郎著『坂の上の雲』(文藝春秋刊)単行本:1巻より



挿絵第128回 画・下高原健二  
Illustration No.128 Picture: Kenji Shimotakahara

明治21(1888)年に、正岡子規の母八重と妹律は実家の大原家敷地内に移った。明治25(1892)年の夏、当時帝国大学生であった夏目漱石が訪問し、松山鮎を食べたのもこの家である。八重と律は、正岡家が東京に一家を移す明治25(1892)年11月までここに住んだ。

In 1888, Shiki's mother Yae Masaoka and sister Ritsu moved to a house within the grounds of the Ohara family home. This is the house that Soseki Natsume, who at that time was a student of Teikoku University, visited in the summer of 1892, eating Matsuyama sushi here. Yae and Ritsu lived here until November 1892 when they joined Shiki moved to in Tokyo.

『坂の上の雲』のまちコース  
俳句の里 城下コース

⑫番  
⑳番

Saka no Ue no Kumo course  
The Hometown of Haiku : Castle town course

No.12  
No.28